

2011.3.18
理事会・評議員会
第2号・第3号議案

2011年度(平成23年度)

事業計画書
収支予算書



財団法人キープ協会



目 次

◎ 目次	1
◎ 財団法人キープ協会の目的と事業	2
◎ 財団法人キープ協会の環境方針	3
◎ 2011年度事業計画・予算計画の基本方針	4
◎ 財団法人キープ協会の事業計画(事業部門別)	
I. 環境教育事業部	6
II. 酪農事業部	9
III. 研修交流事業部	10
IV. 国際地域事業部	11
V. 保育事業部(清里聖ヨハネ保育園)	13
VI. 製販事業部	14
VII. 管理本部(ランドスケープPJT室)	15
VIII. 清里聖アンデレ教会	15
◎ 財団法人キープ協会の収支予算案	16
◎ 清里聖ヨハネ保育園の収支予算案	19

この法人は、キリスト教の精神に基づき、創設者ポール・ラッシュが掲げた食糧、保健、青年への希望の理想を継承し、環境、国際、教育、福祉の改善と育成に資するため、必要な施設を設置運営するとともに指導及び訓育の活動を行ない、もって奉仕の精神の涵養を通して、社会文化の向上と世界平和に寄与することを目的とする。

(財団法人キープ協会・寄付行為第3条)

KEEPは、キリスト教精神に基づき、日米の架け橋となったポール・ラッシュ博士の理想を継承、発展させて、世界の平和のために働く、教育的で実験的なプロジェクトです。

KEEPは、人々が、あらゆる生命を守り育み、信条・文化・民族などの多様性を認め尊重しあう、自然と調和した持続可能な世界を目指します。それは、すべての人が、自然や社会と自分がつながっている喜びを感じることでできる平和な世界です。

KEEPは、「異なるものをつなぐ」をモットーに、日米および世界の人々が、地域の人々とともに、世界に相互理解の架け橋を築くために、出会いと交流の場を提供します。そして、多様な価値観を持つ多様な社会の人々と協力しながら、常に教育と協力の新たな課題を、学び、研究し、実践し、平和な世界を実現する最善のモデルを世界に提示します。

■財団法人キープ協会は、上記の目的を達成するために次の事業を行います。(寄附行為第4条)

- (1) 青少年等の心身の健全な育成と社会奉仕に資するため、体育・レクリエーション・キャンプ野外活動、講習会・研修会・実践教育活動ならびにそれに必要な宿泊研修施設の設置運営
- (2) 世界平和に寄与するための国際交流及び国際協力活動
- (3) 環境教育と環境保全のための試験研究活動ならびにそれに必要な施設の設置運営
- (4) 環境教育の指導者養成及び普及ならびにそれに必要な施設の設置運営
- (5) 地域の歴史・文化・自然を主題とする展示学習施設の設置運営
- (6) 高冷地農業の実践及び教育ならびにそれに必要な施設の設置運営
- (7) 地域社会の幼児の心身の健やかな育成のための保育園の設置運営
- (8) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの管理受託
- (9) 第1号から第8号までの事業を行なうために必要な山梨県特産品その他の物品の販売ならびにそれに必要な施設の設置運営
- (10) その他前条(寄附行為第3条)の目的を達成するために必要と認められた事業

財団法人キープ協会の環境方針

<基本理念>

財団法人キープ協会は、日照時間日本一の地域に位置し、おいしい水と澄んだ空気、4つの国立公園・国定公園に囲まれた豊かな自然と、南に富士山、北に八ヶ岳をはじめとする日本百名山の八峰を望み、森や牧草地が織りなすすばらしい景観に恵まれています。この自然環境が事業活動の基盤をなしているとの認識に立ち「自然との共生」を当協会の基本姿勢とします。創設者ポール・ラッシュ博士の理想と精神を継承・発展させ、かけがえのない自然環境を次世代に引継ぎ、またその担い手を育成していきます。

<行動指針>

1. 当協会は、環境教育に代表される、環境や社会に対し有益な活動を核とした実践・提案型の事業を積極的に展開します。
2. 当協会は、事業活動による環境への有害な影響を排除・低減するためのマネジメントを行います。
3. 当協会は、上記1. 2. を事業活動の中で有効かつ継続的に改善します。
4. 当協会は、環境に関する法律および当協会が同意するその他のきまりごとを順守します。
5. 当協会のために働くすべての人がこの方針を理解し、環境への意識を高め、持続可能な社会のモデルケースとなるような活動を推進することによって、生態系・国際社会・地域社会との共存共栄を図ります。

2010年11月16日

財団法人キープ協会

理事長 茅野 徹郎

KEEPの環境マネジメントシステムがJIS Q 14001:2004/ISO14001:2004の規格に適合していることが認められ、2005年12月9日、ISO14001登録証が発行されました。

2011年度(平成23年度)事業計画ならびに予算編成の基本方針

本年度は、以下の基本方針による積極的な事業展開を実施していく中で、創設者ポール・ラッシュ博士の理念・精神に基づいて、あるべき将来像を見据えた中長期計画の見直しに着手してまいります。さらに、本年度中に「公益財団法人」への移行を目標に掲げて、経営基盤の安定強化を図ってまいります。

1. 「教育」と「研究」を柱とする環境教育事業を一層推進します。

- (1) やまねミュージアム、フォレストーズ・スクールの多彩な事業展開を行います。
- (2) 山梨県立「八ヶ岳自然ふれあいセンター」の管理運営を行います。
- (3) 環境省「那須平成の森」(新規事業)の委託管理運営業務を行います。

2. 「生産」「実験」「教育」を柱とするキープ農場事業を一層推進します。

- (1) 有機JAS認定を受けた「ジャージー牛乳」の安定生産に努めます。
- (2) 循環型社会のモデルとなる「実験酪農」をさらに追及します。
- (3) 酪農体験を主とする「教育体験プログラム」を実施します。
- (4) 地域農産物の高付加価値化を目的とする乳製品等の加工製造に関する試作に取り組みます。

3. 体験・研修・合宿の場として、青少年教育および家族をはじめとする様々なコミュニティに広く提供します。

- (1) 積極的に青少年団体・教育団体等を誘致し、体験プログラムを中心とした滞在を提案します。
- (2) 青少年をはじめ、家族や小グループなどが有効に活用できる研修センターとしての施設作りを推進します。

4. 国際協力事業や地域連携事業への取り組みを行います。

- (1) キープ米国後援会(ACK)との協働によるプロジェクトの推進に努めます。
- (2) 「ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2011」の主体的運営を行います。
- (3) 八ヶ岳南麓や清里ブランドの向上に寄与するための地域連携イベントに協力します。

5. 幼児の主体性・感性を大切に育み、キリスト教精神に基づく「保育」の場を提供します。

- (1) 一人ひとりを祝福する保育を使命とする「清里聖ヨハネ保育園」を運営します。
- (2) 園舎改築のための検討委員会を設置し2013年度完成を目指して準備を進めます。

6. 収益事業部門においては、現場の生産性を向上させ公益財団法人としての健全経営を支えます。
 - (1) 生産・加工・販売の一貫体制による「いちばん美しい農場」プロジェクトを推進し、乳製品を中心にした商品の紹介・提供を行います。
7. 公益事業・収益事業ともに生産性を高め、役職員一丸となって予算の必達を図ります。
 - (1) 定期的な収支状況の把握と、キャッシュフロー計算書等による財務管理をしっかりと行い、公益財団法人として安定・信頼できる経営に努力します。
8. キープ協会の「環境」への取り組みを広く一般にアピールします。
 - (1) ISO14001 認証継続と、循環型社会の実現に向けてのキープの環境への取り組みを紹介し広報します。
9. 清潔で快適な施設の提供を心がけ、必要な施設整備を行います。
 - (1) 使用頻度の低い施設の有効活用を図り、施設・設備の点検整備の徹底を心がけます。
 - (2) 危険箇所や自然災害などを予測した施設整備を計画します。
 - (3) ランドスケープ・プロジェクトによるキープ敷地全体の総合的な維持管理計画を推進します。
 - (4) 電気代・燃料費などのコスト削減に努力するとともに、循環型社会の実現を目指して、次世代エネルギーの導入を研究します。
10. 職員の資質の向上と、必要な研修を実施します。
 - (1) 職員全員が、キープ協会の設立運営理念や歴史的経緯の理解に努めます。
 - (2) 資質向上のための職員研修を積極的に実施します。
 - (3) 防災・救急など、施設として必要な研修・訓練を計画的に実施します。
11. 募金活動・友の会活動を推進します。
 - (1) 財団法人の資金的な基盤を支える「ポール・ラッシュ基金」の拡充に努め、公益法人として社会に寄与できる土台作りを行います。
 - (2) 2010年度に引き続き「キープ友の会」の設立準備を行います。

財団法人キープ協会の事業(事業部門別)

I. 環境教育事業部

環境教育事業部は、「教育」と「研究」を両輪として3セクションが連携しながら各種事業に取り組みます。教育の対象は子どもからシニア世代までであり、市民・学校・企業・行政など多様なセクターと協働し展開します。研究はヤマネ研究を通じた環境保全研究と良質な教育を提供するための環境教育研究が柱となります。

1. やまねミュージアム＝環境保全研究事業

(1) 「研究の社会化」の柱

- A. ヤマネの総合的な研究の推進
- B. ヤマネ保護と環境保全研究の提案
- C. 研究成果を活かした環境教育の普及

(2) 2011年度の重点目標

- A. 23年間に及ぶヤマネ研究を論文等にまとめ、社会に発信すること。
- B. アニマルパスウェイの国内への普及と開発
- C. 23年間の研究を土台にした研究のステップアップ

(3) 収蔵の充実

(4) 入館者に満足感を提供する工夫と新グッズの製作

(5) 開館時間及び休館日

- A. 開館時間 10:00～16:00 (夏休み期間中は、9:00～17:00)
- B. 休館日 毎週月・火曜日 (夏休み期間中、祭日、ゴールデンウィークは無休)

2. フォレストアーツ・スクール＝環境教育指導者養成・普及事業

(1) キープ・フォレストアーツ・スクールの役割

- A. 環境教育プログラムの提供 (主催事業・受託事業)
- B. 日本の自然を活かしたプログラムの研究・開発
- C. 環境教育ネットワークの支援
- D. 「インタープリター」の役割の普及

(2) 基本的な考え

- A. challenge: 何事もチャレンジ精神
- B. communication: 対来訪者・対参加者・対地域および組織内コミュニケーション
- C. character: 来訪者・参加者の個性、スタッフの個性を活かした事業展開

(3) 2011年度の重点目標

- A. 環境教育研究を活かした環境教育実践

- B. キープ協会来訪者へのプログラム
- C. 健康をテーマにしたプログラムへの取り組み
- (4) 主催事業
 - A. 実施予定プログラム…清里エコロジーキャンプ、清里インタープリターズキャンプ、やまね学校、森療時間他
 - B. 留意点…定員充足率の維持およびUP、受託事業への展開
- (5) 受託事業
 - A. 対象…学校・企業・行政など各種団体。
 - B. 留意点…良質なプログラム提供、プログラム紹介資料の更新、新たなマーケット開拓、他企業とKEEPをつなぐ機能を持つ企業・団体の活用、PRの機会の確保
- (6) キープ協会各セクションとの協働
- (7) 指導教育
 - A. 職員教育の実施
 - B. 実習生・若手職員を対象にしたスタッフトレーニングの実施
 - C. 研修・インターン・ボランティアの受入れ

3. ～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター（指定管理事業）

- (1) 第二期指定管理委託の3年目
- (2) 八ヶ岳自然ふれあいセンター運営に関する中期的な考え方（基本方針）
再委託を受けて今後の5年間の基本方針を次のように考えます。

『「自然」と、「人間が作り出す多様な環境」との融合』をテーマとした活動を通して、自然と人間社会との密接な関係を表出し、センターに関わる人々にその関係を再認識してもらうこと。それが「持続可能な社会」作りのために、センターが果たす役割であると考えます。

- (3) 5年間(2009年度～2013年度)を通した中期的具体目標…施設展示・プログラムの開発、自主企画事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設
- (4) 2011年度の事業計画
 - A. 過去2年のテーマ
 - 1) 2009年度のテーマ：『自然と日本文化』
 - 2) 2010年度のテーマ：『自然と健康』（「生物多様性」についても触れる）
 - B. 2011年度のテーマ：『自然と音楽（音）』
 - 1) 事業計画の柱
 - ① 『自然と音楽（音）』というテーマに沿って活動を行います。
 - ② 以下の具体的な事業計画達成を目指します。
 - ③ 自然情報を提供するビジターセンターとしての役割を果たしていきます。
 - 2) 具体的な事業計画

- ①施設展示(随時更新)・プログラム(1～2プログラム程度)の開発
- ②自主企画事業の実施(1回)
- ③自然資料収集のための調査
- ④教材開発
- ⑤地域の拠点施設
- ⑥周辺の文化施設(博物館・美術館)、地域にあるネットワークとの連携(継続事業)
- ⑦自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理(継続事業)
- ⑧鳥類標識調査の実施

(5) 開館時間及び休館日

- A. 開館時間
- | | |
|-------------|------------|
| 1～2月、11～12月 | 9:00～16:00 |
| 3～6月、10月 | 9:00～17:00 |
| 7～9月 | 9:00～18:00 |
- B. 休館日 毎週火曜日(夏休み期間中、祭日、ゴールデンウィークは無休)

4. 環境省「那須平成の森」管理運營業務

2010年度に環境省より請け負っていた「那須平成の森」管理運営準備業務に続き、2011年度は管理運營業務にあたります。

(1) 業務内容

那須平成の森の管理運営実施計画を策定し、2011年5月22日からの一般供用開始のための業務を行います。また、2つのハード施設の管理業務を行います。

(2) 業務期間…2011年4月1日～2012年3月31日

5. 環境研究所

環境教育事業部の働きの1つと考え、事業部横断的に活動を行います。

(1) 環境保全研究…主にやまねミュージアムが担います。

(2) 環境教育研究…事業部で横断的に取り組みます。

環境教育実践の整理・研究、キープ協会全体の教育活動の整理・研究、研究に基づく教育(プログラム・展示など)の評価、指導教育に関する研究

6. 地域との環境教育事業

持続可能な社会の実現のためには、地域社会との協働が不可欠です。

キープ協会各セクションと連携しながら取り組んでいきます。

(1) 地域との環境教育事業

八ヶ岳田んぼの学校、清里こども自然クラブ、地域の学校教育への協力

(2) 構成員としての関わり

北杜市内各種ネットワークへの参画、山梨県内各種ネットワークへの参画

II. 酪農事業部

1. 生産農場

- (1) 2010年度に有機JASを取得して、有効利用と牛乳生産量の向上に努めた結果、2011年度の牛乳生産量は前年度を21,000kg下回る194,400kgを見込みます。
(搾乳頭数60頭×9kg/日×30日×12カ月)
- (2) 繁殖牛や肥育した雄仔牛の売却に努めます。
- (3) 衛生的な施設の維持し、有機飼料の給仕に努めます。

2. 実験農場

- (1) 新高原農業の一環として有機野菜の栽培に努めます。
- (2) 森林の有効利用を図り、雄牛や廃用牛の林間放牧に努めます。
- (3) 引き続き、生ゴミを堆肥化し、資源を有効利用します。

3. 教育農場

- (1) 後継者育成及び学習の場として、短期及び長期実習生、日本大学、麻布大学等の学生を受け入れます。
- (2) 年間を通した酪農体験プログラムを充実します。
- (3) 山梨県畜産課に協力します。山梨県草地協会、日本草地畜産種子協会、中央畜産会からの依頼により体験プログラムを受け入れます。

4. 補助金

- (1) 継続事業（酪農飼料基盤拡大推進事業）中央酪農会議、山梨県畜産課
- (2) 第13回全日本ホルスタイン、ジャージー共進会に参加します。（北海道）
- (3) 農業作物助成事業 山梨県畜産課、山梨草地協会、山梨県農業改良普及所

5. 加工・製造

- (1) 製販事業部と連携して乳製品等の加工・製造に取り組みます。

Ⅲ. 研修交流事業部

2011年度は、収入を上げ無駄を省きます。収入を上げるためには、ハイシーズンにいか
に単価を上げるか、ローシーズンにいかに集客するか。また無駄の排除という面では、過
去から何の疑問もなく行っていることを再考し、必要なもの unnecessaryなものに分け、また、
稼働を見ながら、各種の調整を行い、お客様の少ない時期は休館するなど効率を上げます。

また、長期的な運営面からは、サービスの向上、顧客管理、新たなマーケットの開拓、
清泉寮、自然学校らしさの創造等に取り組んで行きたいと思えます。

1. 事業部全体の具体的な方針

収入の向上を図る。

- (1) コストの見直しを行う。
- (2) サービスの向上に努める。
- (3) 公益目的活動を充実する。
- (4) 自然学校を健全に運営する。
- (5) ポール・ラッシュ記念センター開館業務を行う。

2. 事業部体制

- (1) 宿泊部…予約課、フロント客室課
- (2) 食育部…本館レストラン、新館レストラン、新館ラウンジ、自然学校
- (3) 庶務部…労務管理、収支管理、施設・設備管理、防火管理、ISO担当者
- (4) ポール・ラッシュ記念センター・日本アメフトの殿堂…運営開館業務
- (5) キープ自然学校
 - A. 教育…自然体験は環境教育事業部への移管を目指す、
 - B. 主催事業…森のようちえん、やまもりキャンプ、自然学校応援し隊
 - C. 成果の整理発信…写真展の開催、講演、クッキング教室、食事会
 - D. 食育…地元の食材利用率70%以上の維持、たんぼの学校
 - E. 生活…清潔・環境に配慮、ハンディキャップに配慮（車いすで出かけられ
るフィールド整備）、山梨ダルクとの協働による緑化・整備、社会貢献
のための売店、その他の改善

IV. 国際地域事業部

KEEP の喫緊の課題は、収益構造を改善することで、その一つの方策は現場の生産性を上げるとともに、公益財団法人への移行を実現することにあります。

専従職員を置けない「国際」と、年間 20%台の稼働に留まっている「キャンプ場」、そして各部に分散している地域活動の担当を合体させることで「1年仕事」にします。

また、営業強化プロジェクトを、多様なニーズに応えるとともに、事業部同士の連携と地域連携をさらに進めることによって、KEEP ならではの提案営業を可能にするために、改めて国際地域開発部に位置付けて KEEP の総合力を育むことに注力します。

これら一見、畑違いの「個々の内容 Contents」を、地域社会、様々なコミュニティ、個人・法人、国際社会から共感される「文脈 Context」につなげる事業活動に取り組み、新たな性質＝新たな仕事＝新たな収入を生み出し、公益目的事業としての「国際」「キャンプ場」「地域活動」を活性化させます。

1. 国際交流協力事業

- (1) ツルガオ・プロジェクト 調査・総括⇒対話⇒継続事業・将来計画につなげる
- (2) ツルガオ・プロジェクト等、フィリピン山岳地帯での継続事業
- (3) 北杜市国際交流委員会との協働による国際親善姉妹地域交流事業
- (4) 地域で、通訳・翻訳ボランティアおよびホストファミリーを公募・組織化
- (5) 「サービス・ラーニング」型体験プログラムの開発と試行、ACKとのWG
- (6) タンザニア大使館、タンザニア農村青年を支援する会への協力
- (7) 地域の国際交流関係団体等との関わり
- (8) 国際事業部のページを開設 6月開設を目標

2. キャンプ場の運営・管理

- (1) 主催キャンプ 「ワークキャンプ」自然学校との差別化
- (2) 受託キャンプ
- (3) キャンプ場の環境整備
- (4) キャンプ場の運営 食育との連携

3. 利用者開拓

- (1) 再予約の獲得 大型団体等のアテンド
- (2) 新規利用の獲得
- (3) インバウンド、MICEへの取り組み

4. 健康と学びと交流の場づくり

- (1) ワークショップの利用拡大
- (2) 植物療法を主としたプログラムの提供
- (3) 体験プログラムの開発・提供

5. 地域連携

- (1) ポール・ラッシュユ祭～八ヶ岳カンティフェア～10月15日～16日
- (2) 観光振興による地域経済の活性化
- (3) 教育・文化的事業
- (4) 地域農家との連携

6. ファンドデベロップメント（募金活動）

- (1) 現状の一般寄付・指定寄付等の寄付受け皿・申込み・振込口座等を整理
- (2) 公益財団法人移行に備えて寄付金の受入と消費に関する規定（案）を作成
- (3) 既存の寄付者名簿等を一元的に管理するためフォーマットを統一
- (4) FRについて、ACKとの対話を活発化
- (5) 寄付者に対する年次報告等、アカウントビリティを確立
- (6) 「友の会」（仮称）の設立と運営に関する企画と準備
- (7) 国等の補助金、委託公募事業等を常にウォッチ

7. ボランティア（組織化と教育）

- (1) キャンプ場を拠点とした環境整備等のボランティアワーク
- (2) 通訳・翻訳、ホストファミリー等のボランティア組織化
- (3) KEEPのボランティアワークの整理

8. その他

- (1) 公益認定申請 経理部のサポート 6月末事務完了が目標
- (2) 良い食品づくりの会 毎月の勉強会、年2回のフォーラム、新年研修会
- (3) 八ヶ岳ロードレース 10月23日 山日グループとの窓口業務
- (4) ポール・ラッシュユ記念フィールド
- (5) 清泉寮本館案内所

V. 保育事業部(清里聖ヨハネ保育園)

キリスト教の精神に基づき、「一人ひとりを祝福する保育」を使命とし、神様の愛とやさしさ、思いやりの心・自然体験・国際感覚を柱として、特に幼児の主体性を大切にし、豊かな感性を育むことを心がけ、その環境づくりに努力します。

1. 異年齢児保育の継続

- (1) 縦割り保育を積極的に取り入れ、異年齢児がお互いにより刺激をうけともに喜び互いに受け入れあう心を育みます。

2. 自然学校・森のようちえん♪プロジェクトとの連携

- (1) 自然体験・森の日を通して清里の自然を通して五感を育む。日常の保育の中で自然に子どもたちが親しみ、豊かな感性と自然を大切にする心を育みます。

3. 環境教育・国際理解プログラム

- (1) 平和を大切にする心を育むため、また、日本の伝統や文化を大切にする心を育むため「ワールドプログラム」を行います。日常の保育の中でも保育士が世界の出来事等を子どもたちに理解できるよう伝えます。

4. 安全・安心な給食提供と食育の実践

- (1) バランスの取れた手作りの食事・おやつを提供したり、今日のメニューをディスプレイになれば保護者に見ていただきます。

5. 保育士の資質の向上

- (1) 研修に積極的に参加し、自分たちの保育の振り返りを行います。

6. 保育園施設改善計画

- (1) 園児の安全・衛生面から、当面の修繕の必要のある箇所を改善します。
- (2) 現在の施設の耐用年数から見て、さらに将来の中長期ヨハネ保育計画に基づき、厚生労働省・山梨県・北杜市の資金協力(公的助成)のもと、2013年度(平成25年度)完成を目標に、園舎を建て替えるためのプロジェクトチームを編成し、必要な調査・研究・視察などを実施します。

VI. 製販事業部

「生産・収穫－加工・製造－販売・消費」一貫体制の確立を柱とする“いちばん美しい農場”プロジェクト(略称 MBF プロジェクト)”を推進します。

また、キープが行う公益事業を支えるため、安定した収益の確保が出来る事業展開を目指します。

1. 事業計画要点

- (1) 清泉寮ギフトショップ・ジャージーハット・キープファームショップ・パン工房の4店舗の運営
- (2) お客様の複数店舗利用およびキープ内滞在時間延長を促進
- (3) WEBをはじめとする広報・営業の拡充
- (4) キープの環境を活かした、独自の話題提供による集客
- (5) 各種インフォメーションの充実
- (6) キープ農場有機ジャージー牛乳の拡販
- (7) 通販事業の拡大
- (8) 自社製造品をはじめ、地場産品や地域クラフト品の販売強化
- (9) 公益性のある製品の販売
- (10) 土産品・飲食メニュー・サービス形態など、様々な商品開発
- (11) ジャージー牛乳の内部消費促進
- (12) 飲食業における「人と地球の健康」をキーワードとしたメニュー展開
- (13) お客様の満足度を高める接客・サービス
- (14) 景観に配慮した環境整備
- (15) 購買の一元化による効率的な仕入管理
- (16) POS システムの有効利用による仕入・在庫管理
- (17) 業務の効率化によるコスト削減
- (18) 中長期計画に則った人材育成
- (19) 各店舗間における職員・スタッフの横断的なシフトによる効率的な事業部内人事
- (20) 冬期集客による安定的な人員配置
- (21) MBF プロジェクトの考え方に基づいた事業展開
- (22) ジャージーハット建て替え計画
- (23) 乳製品製造施設(ミルクプラント)建設計画
- (24) 自社製造施設(キープファクトリー)建設計画

VII. 管理本部

豊かな自然に恵まれたキープ協会の管理敷地(県有地)の総合的な維持管理のための計画を立て、敷地内の適正管理に努めます。このことはISO14001の本部EMP(環境マネジメントプログラム)としても引き続き位置付け、計画的に業務として実施していきたいと思ひます。

また、キープ協会の管理部門としての基本業務の原点に戻って、トップマネジメントと現場とをつなぎ、全社的コミュニケーションの管理を担ひ、他部門のサービススタッフとなり、全社的活動の推進を図りたいと思ひます。

1. 総務部

- (1) 総務、人事、労務管理、職員食堂

2. 経理部

- (1) 経理、出納、財務、資金繰り、決算

3. 施設部

- (1) 施設管理、環境整備

4. 広報部

- (1) 広報に関する業務

5. その他の業務・組織

- (1) ISO事務局(内部監査体制)および、環境マネジメントプログラムの推進。
- (2) 危機管理計画および消防防災計画・大規模地震防災計画(自衛防災チーム)。
- (3) 情報システム構築・維持。
- (4) 事務処理システムの企画・開発。
- (5) 経理システムの構築。

6. ランドスケープPJT室

- (1) 県有地であるキープ協会の敷地全体の総合管理計画をたて適正管理に努めます。

VIII. 清里聖アンデレ教会

日本聖公会横浜教区の一教会としての働きと同時に、キリスト教の精神に基づき設立されたキープ協会の精神的拠点としての働きをします。

2011年度(平成23年度) 財団法人キープ協会 一般会計収支予算(案) 合計表

単位:千円

部門	収入	事業費①	人件費②	管理費③	支出計①～③	部門損益	減価償却費	支出計	損益	キャッシュフロー
清泉寮	451,176	65,098	133,158	194,063	392,319	58,857	116,200	508,519	-57,343	58,857
ポール・ラッソ記念館	2,520	310	1,491	2,565	4,366	-1,846	4,600	8,966	-6,446	-1,846
自然学校	106,230	14,904	50,304	32,985	98,193	8,037	6,200	104,393	1,837	8,037
環境教育事業部	88,700	2,772	45,965	27,590	76,327	12,373	592	76,919	11,781	12,373
八ヶ岳自然ふれあいセンター	35,352	0	21,547	13,805	35,352	0	0	35,352	0	0
那須の森	52,380	0	34,038	18,342	52,380	0	0	52,380	0	0
農場	56,302	5,500	26,977	15,171	47,648	8,654	8,000	55,648	654	8,654
製販事業部	601,000	251,650	125,188	62,304	439,142	161,858	6,461	445,603	155,397	161,858
国際地域事業部	47,000	6,030	46,970	21,550	74,550	-27,550	5,800	80,350	-33,350	-27,550
本部	8,594	0	98,529	50,242	148,771	-140,177	12,353	161,124	-152,530	-140,177
合計	1,449,254	346,264	584,167	438,617	1,369,048	80,206	160,206	1,529,254	-80,000	80,206
経費/収入 比率%		23.9	40.3	30.3						
那須の森を除く 合計	1,396,874	346,264	550,129	420,275	1,316,668					
経費/収入 比率%		24.8	39.4	30.1						

	収入	事業費①	人件費②	管理費③	支出計①～③	部門損益	減価償却費	支出計	損益	キャッシュフロー
2010年度収支予算	1,400,163	360,251	514,434	374,792	1,249,477	150,686	150,686	1,400,163	0	150,686
比較増減	49,091	-13,987	69,733	63,825	119,571	-70,480	9,520	129,091	-80,000	-70,480

2011年度予算項目別集計表	単位:千円	研修交流			環境教育	ふれあいセンター	那須の森	農場	製販事業部	国際	本部
2011.02.27	合計	清泉寮	PRMC	自然学校							
収入の部											
宿泊収入	282,512	224,812		41,500						16,200	
食堂収入	282,501	209,301		53,100						20,100	
売店収入	376,063	6,883	770	810	4,200				363,400		
ソフトクリーム収入	179,000								179,000		
プログラム収入	102,500	1,800		8,100	74,000			15,000		3,600	
牛売却収入	3,810							3,810			
グリル収入	58,600								58,600		
牛乳収入	34,992							34,992			
使用料収入	600	600									
雑収入	17,668	7,780		2,720	100	114				1,720	5,234
入館料収入	7,080		1,580		5,500						
委託収入	89,448					35,238	52,380			1,830	
寄付金収入	3,870		170		400					1,500	1,800
利子収入	580										560
補助金・助成金収入	10,050				4,500			2,500		2,050	1,000
合計	1,449,254	451,176	2,520	106,230	88,700	35,352	52,380	56,302	601,000	47,000	8,594
原材料費											
グリル材料費	20,510								20,510		
飼料購入費	2,500							2,500			
乳牛諸費	3,000							3,000			
売店材料費	206,970	4,401	310	567	2,772				198,920		
ソフト材料費	32,220								32,220		
贈材料費	81,064	60,697		14,337						6,030	
小計①	346,264	65,098	310	14,904	2,772	0	0	5,500	251,650	6,030	0
売上総利益	1,102,990	386,078	2,210	91,326	85,928	35,352	52,380	50,802	349,350	40,970	8,594
人件費											
役員報酬	17,040					2,000		2,400			12,640
給料手当	292,895	77,046	1,039	27,902	23,714	6,402	10,090	14,460	62,900	30,045	39,297
賞与	66,252	17,165	269	6,794	3,893	1,860	2,771	2,430	14,800	6,370	9,900
賞金雑給	114,760	20,568	0	8,662	10,833	8,123	11,405	3,177	34,000	5,255	12,737
法定福利費	61,533	16,069	183	6,070	5,459	2,462	2,990	3,200	10,700	4,700	9,700
福利厚生費	18,498	2,010	0	720	1,761	700	6,782	1,000	2,000	505	3,020
退職金	10,000										10,000
退職引当金繰入	3,189	300		156	305		0	310	788	95	1,235
小計②	584,167	133,158	1,491	50,304	45,965	21,547	34,038	26,977	125,188	46,970	98,529
管理費	0										
委託費	44,772	32,128	216	3,280		3,905	743		2,700	300	1,500
会議費	3,670	120			250	90	210				3,000
会費イベント費	5,763	248		75	400					3,540	1,500
企画調査費	4,300				3,800						500
プログラム費	17,195	680	100	2,430	8,280	1,066	1,809	100		2,750	
業務用消耗品費	28,816	7,005	125	1,180	900	2,155	3,171		12,000	880	1,400
教育研修費	2,299	378	50	121	450			500	300		500
雑費	42,154	22,495	230	2,749	1,900			180	4,500	2,100	8,000
支払手数料	17,080	8,620		1,650	60				6,240		510
修繕費	20,142	6,110		1,400	800	1,813	667	4,652	1,200	1,500	2,000
事務用消耗品費	7,786	1,380	70	600	850	1,252	1,514	20	10	240	1,850
接待交際費	2,898	345		70	30		1,333	120			1,000
広告宣伝費	7,044	1,254	50	200	300	530			1,500	1,190	2,020
光熱・燃料費	84,470	51,049	994	8,170	530	1,377		2,050	10,500	1,600	8,200
電話通信費	20,458	6,040	60	2,380	1,500	700	1,238	280	3,900	360	4,000
備品費	1,387	1,142	30	215							
旅費交通費	18,983	800		1,200	6,000	100	1,076	200	4,700	2,000	2,907
国際交流事業費	2,600									2,600	
借地料	22,446	5,169	415	1,230	538			4,450	5,854	690	4,100
諸税公課	14,898	11,869		1,720	100	20	19	500	420		250
賃借料	37,731	16,859	3,156	660	540	1,467	319	7,650	1,340		5,740
保険料	8,574	2,003	225	1,159	242	257	333	1,800	830	460	1,265
支払利息	18,389	18,389		0							
管理費	4,762						4,762				
小計③	438,617	194,063	2,565	32,985	27,590	13,805	18,342	15,171	62,304	21,550	50,242
合計①～③	1,369,048	392,319	4,366	98,193	76,327	35,352	52,380	47,648	439,142	74,550	148,771
経常利益	80,206	58,857	△ 1,846	8,037	12,373	0	0	8,654	161,858	△ 27,550	△ 140,177
④減価償却費	160,206	116,200	4,600	6,200	592	0	0	8,000	6,461	5,800	12,353
支出合計①～④	1,529,254	508,519	8,966	104,393	76,919	35,352	52,380	55,648	445,603	80,350	161,124
部門損益	△ 80,000	△ 57,343	△ 6,446	1,837	11,781	0	0	654	155,397	△ 33,350	△ 152,530

キープ協会 収支予算比較表

単位：千円

収 入	2011年度(案)	2010年度	増減(11-10年度)
清泉寮(P RMC含む)	453,696	425,010	28,686
自然学校	106,230	152,900	-46,670
環境教育事業部	88,700	79,800	8,900
八ヶ岳自然ふれあいセンター	35,352	35,333	19
那須の森事業(新規事業)	52,380	0	52,380
農 場	56,302	58,100	-1,798
製販事業部	601,000	640,000	-39,000
国際地域事業部	47,000	4,700	42,300
本 部	8,594	4,320	4,274
収入合計	1,449,254	1,400,163	49,091
支 出			
清泉寮(P RMC含む)	517,485	459,256	58,229
自然学校	104,393	125,384	-20,991
環境教育事業部	76,919	78,800	-1,881
八ヶ岳自然ふれあいセンター	35,352	35,333	19
那須の森事業(新規事業)	52,380	0	52,380
農 場	55,648	58,100	-2,452
製販事業部	445,603	472,500	-26,897
国際地域事業部	80,350	5,020	75,330
本 部	161,124	165,770	-4,646
支出合計	1,529,254	1,400,163	129,091
損 益			
清泉寮(P RMC含む)	-63,789	-34,246	-29,543
自然学校	1,837	27,516	-25,679
環境教育事業部	11,781	1,000	10,781
八ヶ岳自然ふれあいセンター	0	0	0
那須の森事業	0	0	0
農 場	654	0	654
製販事業部	155,397	167,500	-12,103
国際地域事業部	-33,350	-320	-33,030
本 部	-152,530	-161,450	8,920
当期損益	-80,000	0	-80,000

清里聖ヨハネ保育園 2011年度(平成23年度)収支予算(案)

科目	2011年度予算 (案)	2010年度予算	増減	備考
収入の部				
運営費収入	56,500	48,935	7,565	園児62名
雑収入	3,477	1,905	1,572	人件費補助金1名
取崩収入	1,000	1,000	0	
収入合計	60,977	51,840	9,137	
支出の部				
職員俸給	20,400	23,300	-2,900	職員8名
職員諸手当	10,700	5,460	5,240	
賃金	12,577	5,880	6,697	臨時4名
法定福利費	5,200	4,500	700	
厚生経費	200	200	0	
人件費計	49,077	39,340	9,737	
旅費	500	500	0	
一般物品費	360	400	-40	
固定資産物品費	0	0	0	
印刷製本費	110	100	10	
光熱水費事務費	300	300	0	
会議費	50	50	0	
修繕費	300	300	0	
役務費	600	500	100	
借料損料	530	150	380	
事務雑費	840	1,000	-160	
管理費計	3,590	3,300	290	
給食費	4,000	4,000	0	
保健衛生費	360	400	-40	
保育材料費	700	700	0	
水道光熱費事業費	1,200	1,000	200	
炊具食器費	100	100	0	
事業雑費	1,950	3,000	-1,050	
予備費	0	0	0	
事業費合計	8,310	9,200	-890	
支出合計	60,977	51,840	9,137	
収支差額	0	0	0	

